



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 日本水産株式会社
コード番号 1332 URL <http://www.nissui.co.jp>

上場取引所 東 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 垣添 直也

問合せ先責任者 (役職名) 法務部長 (氏名) 竹内 康訓

TEL 03-3244-7181

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	271,774	14.6	6,355	91.7	5,280	671.6	2,073	—
23年3月期第2四半期	237,228	△1.7	3,314	△12.9	684	△77.5	△1,321	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,579百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △7,847百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	7.51	—
23年3月期第2四半期	△4.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	408,911	71,551	12.7
23年3月期	399,718	70,807	12.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 52,081百万円 23年3月期 50,438百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	525,000	6.2	12,000	48.4	11,000	75.3	5,500	—	19.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	277,210,277 株	23年3月期	277,210,277 株
24年3月期2Q	917,639 株	23年3月期	915,222 株
24年3月期2Q	276,293,876 株	23年3月期2Q	276,304,354 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。
・決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P 3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
四半期連結損益計算書	P 6
四半期連結包括利益計算書	P 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P 8
(4) セグメント情報等	P 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により大きな被害を受けたサプライチェーンの復旧が進み、個人消費も回復の兆しを見せていますが、長期化する円高の影響に加え、震災による電力供給への懸念や放射性物質への不安などがあり、依然として不透明な状況が続いています。

世界経済につきましては、米国では高い失業率や個人消費の低迷により景況感は悪化し、欧州ではギリシャ、スペインおよびイタリアの財政問題などがグローバルな金融不安に波及する恐れがあり、アジアでは中国で経済成長が続いているものの伸びがやや鈍化しています。

このような状況下で当第2四半期連結累計期間の営業成績は、売上高は2,717億74百万円（前年同期比345億46百万円増）、営業利益は63億55百万円（前年同期比30億40百万円増）、経常利益は52億80百万円（前年同期比45億96百万円増）、第2四半期純利益は20億73百万円（前年同期比33億95百万円増）となりました。

事業の営業の概況は次のとおりであります。

①水産事業

水産事業につきましては、漁撈事業、養殖事業、加工・商事事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

水産事業では売上高は1,130億58百万円（前年同期比322億38百万円増）となり、営業利益は13億89百万円（前年同期比26億13百万円増）となりました。

漁撈事業：前年同期比で増収、減益となりました。

- ・ 南米では、チリにおいて主要魚種の漁獲枠が減少し、アルゼンチンにおいて漁獲は低調に推移しました。

養殖事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、ぶり養殖事業、まぐろ養殖事業において販売数量の増加や魚価の上昇がありました。
- ・ アジアでは、インドネシアのえび養殖事業の改善が進みませんでした。
- ・ 南米では、チリの鮭鱒養殖事業で販売数量が増加し魚価も堅調に推移しました。

加工・商事事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、当社において、すりみ価格の下落がありましたが、鮭鱒などの販売が順調に推移しました。
- ・ 北米では、すけそうだらの漁獲枠が増加し、すりみ・フィレーの生産数量が増加するとともに、助子の販売も順調に推移しました。
- ・ 南米では、ネチューノ・インターナショナル社（注1）、ヨーロッパではノルディック社（注2）が連結子会社となりました。

②食品事業

食品事業につきましては、加工事業およびチルド事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

食品事業では売上高は1,326億80百万円（前年同期比9億87百万円増）となり、営業利益は26億84百万円（前年同期比1億96百万円増）となりました。

加工事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、東日本大震災により女川工場などが被災しましたが、他の工場への生産移管を進め、商品供給の復旧に努めました。販売競争の激化により魚肉ソーセージの苦戦がありましたが、夏場の節電の影響などから簡便に調理できる冷凍食品が見直され、家庭用冷凍食品ではちゃんぽん、業務用冷凍食品ではチキン加工品などの販売が好調に推移しました。
- ・ 北米の業務用冷凍食品会社は外食需要の低迷の影響を受け低調に推移しましたが、北米およびヨーロッパの家庭用冷凍食品会社は販売が順調に推移しました。

チルド事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、コンビニエンスストアの利便性が評価されたこともあり、麺類やチルド弁当の販売が伸長し増収となりました。

③ファイン事業

ファイン事業につきましては、医薬原料、機能性原料（注3）、機能性食品、および医薬品、診断薬の生産・販売を行っております。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

ファイン事業では売上高は128億97百万円（前年同期比3億40百万円増）となり、営業利益は32億16百万

円（前年同期比4億53百万円増）となりました。

ファイン事業：前年同期比で増収、増益となりました。

- ・ 日本では、当社において、東日本大震災の影響による医薬原料および機能性原料の前倒し販売があったことから増収となりました。また、連結子会社の日水製薬株式会社の診断薬事業も順調に推移しました。

④物流事業

物流事業につきましては、冷蔵倉庫事業、配送事業、通関事業を営んでおります。

<当第2四半期連結累計期間の概況>

物流事業では売上高は60億58百万円（前年同期比2億27百万円増）となり、営業利益は6億98百万円（前年同期比6百万円減）となりました。

物流事業：前年同期比で増収、減益となりました。

- ・ 日本では、冷蔵倉庫事業において、東日本大震災の影響を受け東北エリアは減収となりましたが、首都圏エリアでは入庫量が増加し、配送事業の増収もありましたので順調に推移しました。

（注1）平成22年5月に設立し同年9月より事業を開始した、ブラジル連邦共和国ペルナンブコ州レシフェ市に本社を置く養殖事業、水産調理冷凍食品の製造・販売を主な事業とする会社。

（注2）デンマーク国ヒルトシャルスに本社を置き、スペイン、ポルトガルを除くヨーロッパ全土で水産品・水産加工品の販売を行っている。当社の持分法適用会社であったが、平成22年8月に全株式を取得し連結子会社としました。

（注3）主に食品素材や化粧品素材向けとなるEPA・DHA、グルコサミン、コレステロール、オレンジラフィー油など。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.1%増加し、1,987億98百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が29億92百万円、商品及び製品が53億29百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%増加し、2,101億13百万円となりました。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2.3%増加し、4,089億11百万円となりました。

負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.8%増加し、2,029億26百万円となりました。これは短期借入金が84億44百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.2%減少し、1,344億32百万円となりました。これは長期借入金が45億34百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、3,373億59百万円となりました。

純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7億44百万円増加し、715億51百万円となりました。これは主として四半期純利益20億73百万円及び為替換算調整勘定が10億52百万円増加し、配当金の支払いにより13億82百万円減少したことなどによります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値に差異が発生いたしました。詳細については、本日平成23年11月4日公表の「第2四半期（累計）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、通期の業績予想につきましては、現時点では前回発表の予想数値に変更はありませんが、今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,962	6,330
受取手形及び売掛金	64,104	67,096
商品及び製品	48,573	53,902
仕掛品	11,552	14,302
原材料及び貯蔵品	21,619	21,430
その他	35,661	36,272
貸倒引当金	△526	△536
流動資産合計	190,947	198,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	50,399	49,501
その他（純額）	62,801	62,985
有形固定資産合計	113,200	112,487
無形固定資産		
のれん	4,554	4,048
その他	13,378	14,596
無形固定資産合計	17,932	18,644
投資その他の資産		
投資有価証券	59,056	59,655
その他	21,992	22,756
貸倒引当金	△3,412	△3,430
投資その他の資産合計	77,637	78,981
固定資産合計	208,770	210,113
資産合計	399,718	408,911

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,044	32,083
短期借入金	128,588	137,032
未払法人税等	1,529	1,805
未払費用	19,636	19,386
引当金	3,852	3,241
その他	7,424	9,378
流動負債合計	190,075	202,926
固定負債		
長期借入金	118,740	114,206
退職給付引当金	12,949	12,717
その他の引当金	231	214
その他	6,915	7,295
固定負債合計	138,835	134,432
負債合計	328,911	337,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,729	23,729
資本剰余金	13,758	13,758
利益剰余金	24,325	25,017
自己株式	△255	△255
株主資本合計	61,557	62,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△641	△645
繰延ヘッジ損益	△321	△429
為替換算調整勘定	△8,645	△7,593
在外子会社の年金債務調整額	△1,510	△1,498
その他の包括利益累計額合計	△11,119	△10,167
少数株主持分	20,368	19,470
純資産合計	70,807	71,551
負債純資産合計	399,718	408,911

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	237,228	271,774
売上原価	182,225	210,153
売上総利益	55,002	61,621
販売費及び一般管理費	51,688	55,266
営業利益	3,314	6,355
営業外収益		
受取利息	272	260
受取配当金	387	503
持分法による投資利益	—	623
雑収入	340	320
営業外収益合計	1,000	1,708
営業外費用		
支払利息	1,724	1,895
為替差損	1,250	438
持分法による投資損失	366	—
雑支出	289	448
営業外費用合計	3,631	2,782
経常利益	684	5,280
特別利益		
固定資産売却益	45	75
貸倒引当金戻入額	167	—
特別利益合計	212	75
特別損失		
固定資産処分損	301	274
投資有価証券評価損	53	1,059
災害による損失	—	300
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	387	—
特別損失合計	741	1,634
税金等調整前四半期純利益	155	3,721
法人税、住民税及び事業税	1,426	1,802
法人税等調整額	△296	170
法人税等合計	1,129	1,972
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△974	1,749
少数株主利益又は少数株主損失（△）	347	△324
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,321	2,073

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失（△）	△974	1,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,224	△95
繰延ヘッジ損益	△80	△185
為替換算調整勘定	△2,889	△131
在外子会社の年金債務調整額	56	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,734	1,230
その他の包括利益合計	△6,873	830
四半期包括利益	△7,847	2,579
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,581	3,025
少数株主に係る四半期包括利益	△266	△446

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客に対する売上高	80,820	131,692	12,556	5,830	230,900	6,327	237,228	—	237,228
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,555	313	101	3,305	9,276	1,432	10,708	△10,708	—
計	86,376	132,006	12,658	9,135	240,176	7,760	247,936	△10,708	237,228
セグメント利益 又は損失（△）	△1,224	2,488	2,762	705	4,731	117	4,849	△1,534	3,314

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。
2. セグメント利益の調整額△1,534百万円には、セグメント間取引消去14百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,548百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水産事業	食品事業	ファイン 事業	物流事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	113,058	132,680	12,897	6,058	264,695	7,079	271,774	—	271,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,289	475	129	3,544	9,439	1,532	10,972	△10,972	—
計	118,348	133,155	13,027	9,603	274,135	8,611	282,746	△10,972	271,774
セグメント利益	1,389	2,684	3,216	698	7,988	235	8,224	△1,869	6,355

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない船舶の建造・修繕やエンジニアリング等が対象となります。
2. セグメント利益の調整額△1,869百万円には、セグメント間取引消去△42百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,826百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。